

献 呈 の 辞

渡辺徳夫先生は、令和7年3月末日をもってご退職されます。ここに謹んで感謝の意を表し、本号を退職記念論文集として献呈いたします。

渡辺先生は、1994年に非常勤講師として法学部に勤務され、2003年からは本学部の専任教員として本学の教育・研究にご尽力されてきました。

渡辺先生は、ドイツ・ロマン派の劇作家、ハインリヒ・フォン・クライストの専門家として、多くのご論考を残されました。クライスト作品を丁寧に分析する手法で、日本のクライスト研究を牽引されてきました。また、日本の狂言のドイツ語訳についてもご研究され、ドイツと日本の文学を双方向から取り組む業績をあげられています。

渡辺先生は、国際交流面では、ご自身のご留学先であった、ドイツのヨハネス・ゲーテンベルク（マインツ）大学との提携において、毎年本学の学生を指導し交換留学生として派遣することにご尽力いただきました。

渡辺先生は、30年もの長きにわたり、一貫してドイツ語教育の発展に情熱を傾けてこられ、先生がご担当する授業の学生一人一人に丁寧に目を配る指導をされてこられました。その姿勢は、ベルリン自由大学やウィーン大学との短期語学研修でも変わらず、現地の引率指導においては学生一人一人と向き合い、国際的な視野を広げる指導をしてこられました。先生の語学教育に対する情熱は、何冊ものドイツ語教材の執筆やドイツ語技能検定試験の分析・指導にも表れています。

ここに、渡辺先生の長年にわたる法学部へのご貢献に深く感謝し、本論文集を刊行させていただきます。先生のご人徳を慕い、先生とともに研究・教育に取り組んでこられた先生方から多数のご論考が寄せられましたことを、大変嬉しく思います。

最後になりますが，渡辺先生には，引き続き本学部での教育と後進への一層のご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに，先生の益々のご活躍とご健勝を祈念し，献呈の辞とさせていただきます。

日本大学法学部長 小 田 司